

第59回神奈川県合唱祭報告

会場：神奈川県立音楽堂

出演日時：2016年6月25日（土）

演奏曲：合唱組曲「月光とピエロ」から 秋のピエロ
男声合唱のためのカンタータ「土の歌」から 第七楽章 大地讃頌

出演者：22名

指揮：鷹巣 誠一

ピアノ：櫻井 由理

トップテナー：三枝（康）、田中（秀）、船橋、林原、田辺、生方
セカンドテナー：飯田、田中（利）、菅原、岡本
バリトン：小池、蒲谷、加藤（英）、高橋、福井、岡田
ベース：柿崎、宮野、牧、志澤、伊東、相原



第59回神奈川県合唱祭 [2016年6月25日 神奈川県立音楽堂木のホール]

講評者の先生方から講評を頂きました。先生方の経歴などは第59回神奈川県合唱祭のプログラムをご覧ください。

講評者	秋のピエロ 講評	大地讃頌 講評
相澤 直人 先生	秋のピエロ、特に中間部の美しさが印象的です。(月光とピエロ全曲聴かせて頂きたいですね~) 明るく輝きのあるトップテナーがリードし、全体を通じて表現意欲にあふれた演奏でした。	大地讃頌、前半はもう少し、大地の拡がり(Grandioso)を感じる演奏になると良いですね! ラストはお見事。
土屋 広次郎 先生	やわらかい響きで優しいハーモニー 多少ずれがありました。「男とは優しさだ」と言わんばかりのハーモニーがクライマックスでは力強く終わりお見事でした!!	
小野瀬 照夫 先生	男声合唱の定番の曲ですが、とても安定感がある。また曲想の変化の幅の広い合唱になっています。伸ばした時のハーモニーもよく決まり、響いていました。	スパンの長いメロディーが多い曲ですが、フレーズ感のよく出た合唱になっていました。皆さんのブレスコントロールが良いからだと思います。

出場団体の皆様からもコメントを頂きました。

団体名	
混声合唱団虹の会 様	男性特有のすばらしいハーモニーにうっとり、時間をかけてじっくり取り組んでいる様子です。特にテナーよく響いています。大地讃頌の表現力こちらに伝わってきました。
コーラルあじさい 様	声が若々しい。この年代になって、こんなに集中することはそうないと思います。素晴らしいです。ffの時少々声が荒いと思いました。